

両立支援 行動計画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 2023年 8月 1日～ 2028年7月 31日までの 5年間
2. 内容

目標1：育児休業を取得予定の社員及び育児休業から復職した社員に対するメンター制度を導入する。

<対策>

- 2023年 8月～ 社員へのアンケート調査、検討開始
- 2025年 8月～ 運用ルールの検討、メンター選定
- 2027年 4月～ 運用ルールの決定、メンター研修の実施
制度導入、社内報などによる社員への周知

目標2： 2028年 4月までに、小学校就学前の子を持つ社員が、希望する場合に利用できる短時間勤務制度を導入できるよう、準備・検討する。

<対策>

- 2023年 8月～ 社員へのアンケート調査、検討開始
- 2028年 3月～ 制度の導入、社内報などによる社員への周知

目標3： 2028年 4月までに、子の看護休暇制度を拡充する（育児・介護休業法の規定を上回る日数付与、いわゆる「中抜け」（就業時間の途中から時間単位の休暇を取得し、就業時間の途中で再び戻ること）で取得できる制度など）。

<対策>

- 2023年 8月～ 社員へのアンケート調査、検討開始
- 2028年 3月～ 制度の導入、社内報などによる社員への周知